

ヒロシマ・ナガサキ・ヒバクシャの思い受け継ぎ世界へ 世界青年のつどい成功めざす全国交流ニュース

[2006年6月8日 No.1]

発行: 第2回世界青年のつどい準備委員会 電話03 5842 6035 FAX03 5842 6033
URL http://www.geocities.jp/youth_against_nukes/index_jp.html Eメール youth_against_nukes@yahoo.co.jp

ポスターとフライヤーが完成しました！

古着屋、ライブハウス、クラブなど若者の集まる場所に置き「つどい」アピールを！

全労連青年部、民青から注文



「No more Hiroshimas. No more Nagasakis.」というわかりやすいメッセージを盛り込み、昨年の集会の雰囲気がダイレクトに伝わるような写真をデザインしました(デザイナーの高橋哲也さん)。

さっそく全労連青年部からポスター1万枚、フライヤー5万枚、民青中央委員会からポスター500枚、フライヤー2万枚の注文がありました。ご注文は電話、FAX、Eメールでつどい準備委員会まで(担当:前川)

平和の波紋広がった

東京・三鷹

昨年の「世界青年のつどい」で出会ったフィジー人の留学生ディパ



左からディパさん、大貫さん、パトリシアさん

ルさんと日本人の大貫綾子さんが、アメリカ人の英語教師パトリシアさんと一緒に地元で何かやりたいと意気投合し、三鷹市教育委員会の後援も得て6月2日、三鷹市公会堂で、「DEVELOPING PEACE RIPPLES(広がる 平和の 波紋)」というイベントを開催。250人が集まりました。

ピースアニメ『つるにのって』上映や広島平和

祈念公園の中にある「原爆の子の像」のモデル、佐々木貞子さんの兄である雅弘さんの朗読、雅弘さんの息子で貞子さんの甥にあたるYUJIさんがヴォーカルを務めるロックバンド「GOD BREATH」(ゴッドブレス)の演奏で盛り上がりました。

被爆体験受け継ぎたい

東京・墨田 6月3日、平和サークルP魂s(ピースソウルズ)5周年合宿の中で35人が墨田区在住の被爆者、山下久代さんの被爆体験を聴きました。

13歳の時に広島で被爆し、出産を断念。生き残ってしまって申し訳ないという思いから被爆体験を誰にも語れなかった山下さんは、被爆50年の時に周りから頼まれて初めて中学3年生に語ったことをきっかけに、核兵器廃絶の運動に関わるようになりました。参加者からは、「50年間誰にも話せなかった山下さんの思いをしっかり受け止めたい」という感想が出されました。



山下さんを囲んで記念撮影(6月3日、墨田セミナーハウス)

各地の取組みを写真と一緒にお願いします。